

## 片浦海岸特定区域の屋外広告物・特定案内広告物の色彩

## 片浦海岸特定区域

## 制限の考え方

四季折々に変化する豊かな自然環境と調和するために、屋外広告物の地色<sup>\*1</sup>は、極端に明るい色や鮮やかな色を用いないよう誘導を図ります。

<sup>\*1</sup> 文字以外の部分をさします。面積全体の 1/3 以内の範囲内で用いる色彩には制限がありません。

対象部位	色相	明度	彩度
屋外広告物の地色 日よけテント	0.1R～10R	4を超える場合	5以下とする
		4以下の場合	8以下とする
	0.1YR～5Y	4を超える場合	6以下とする
		4以下の場合	8以下とする
	5.1Y～10G、 0.1PB～10RP	4を超える場合	4以下とする
		4以下の場合	6以下とする
	0.1BG～10B	4を超える場合	3以下とする
		4以下の場合	5以下とする

※カラーの写真や絵画等の部分は、色彩基準に適合しない部分とみなします。

※和風の意匠によるのれん、日よけ幕については、1色に限り上記範囲外の色彩を用いることができます。

## 屋外広告物の色彩デザイン提案…豊かな自然環境と調和する穏やかな広告景観をめざして

●山並みを背景とした配置の場合



## × 原案

地色に高彩度色を用いており、国道沿道の豊かな自然景観の中で突出した存在となっています。屋外広告物も、後背の豊かな自然と調和するような色彩となるようにデザインしましょう。



## ◎ 中彩度色を活かした表現

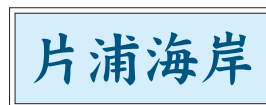
派手な高彩度色ではなく、同色相の中彩度色を地色にすると深みのある落ち着いた印象になります。



## ◎ 素材色を活かした表現

木材や布などの自然素材を活かすと周囲の自然と調和した親しみやすく味わいのある表現になります。

●海外線を背景とした配置の場合



## ◎ 淡い色調の地色による表現

明るく爽快感のある色調でまとめると海や空と調和した爽やかな印象になります。



## ◎ 表現全体の工夫

地域のイメージにふさわしい表現を採り入れると、海辺のリゾートの雰囲気を出出すことができます。

## シミュレーション…避けたい景観イメージ（左）と改善例（①建築物の色彩を落ち着いた低彩度色とする。②屋外広告物の色彩に深みのある中彩度色を用いる。）



## 片浦海岸特定区域における特定案内広告物の色彩

## 制限の考え方

片浦海岸特定区域に設置する特定案内広告物の色彩は、周囲の豊かな自然に調和するよう誘導を図ります。

対象部位	色相	明度	彩度
屋外広告物の地色	0.1YR～5Y	4以下とする	2以下とする
屋外広告物の文字の色	0.1YR～5Y	8以上とする	2以下とする
	N	8以上とする	—

## 屋外広告物の色彩デザイン例



落ち着いたこげ茶の地色に白の文字が基本です。

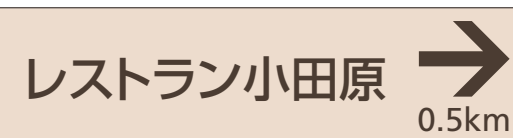
## 片浦海岸特定区域以外の地域における特定案内広告物の色彩

## 制限の考え方

片浦海岸特定区域以外に設置する特定案内広告物の色彩は、周囲の景観と調和するよう誘導を図ります。

対象部位	色相	明度	彩度
屋外広告物の地色 及び文字の色	0.1R～10R	4以下とする	5以下とする
	0.1YR～5Y	4以下の場合 8以上の場合	6以下とする 2以下とする
	5.1Y～10G 0.1PB～10RP	4以下とする	4以下とする
	0.1BG～10B	4以下とする	3以下とする
	N	4以下又は 8以上とする	—

## 屋外広告物の色彩デザイン例



白やベージュの地色にこげ茶や黒の文字が基本です。反転表現も可能です。